基本目標2　誰もが安心して『夢』を持って暮らせるまちづくり

実現するためにめざすこと	施策・事業	取組内容	令和７年度実績	進捗状況	課題等	Withコロナ アフターコロナを踏まえた事業内容の見直し	今後の方向性	担当部署
１　最期まで自分らしく過ごせる地域をつくる	１　障害者地域生活支援事業	障害のある人の自立した日常生活や社会生活のため、地域の特性や利用者の状況に応じ、日常生活用具の給付、権利擁護、手話等の通訳、移動支援等のサービスの提供等を行います。	⑬障害者の地域生活を支援するため、各種地域生活支援事業を実施した。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑬無し	⑬無し	維持	⑬社会福祉課
	２　居宅介護福祉用具購入費の給付・居宅介護住宅改修費の給付	自立した生活環境を整えるため、居宅介護福祉用具を購入したり、段差解消などの住宅改修を行う際に支援します。	⑪要介護認定を受けた者へケアプランに基づき、福祉用具の購入費や段差解消などの住宅改修費を支給した。 福祉用具購入　２８８件 住宅改修　　１４５件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪無し	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
	３　食の自立支援事業	在宅のひとり暮らし高齢者等が健康で自立した生活を送ることができるように、安否確認を兼ね、食生活に関する情報提供と配食サービスを実施します。	⑪安否確認を兼ね、食生活に関する情報提供と配食サービスを実施した。 配食数　１５，９５６食	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪利用者への栄養改善の指導方法や委託事業者の撤退・廃業が課題となっている。	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
	４　認知症高齢者の見守り体制の強化	地域での認知症徘徊高齢者見守り体制を強化するため、「認知症サポーター養成講座」の開催や「わんわんパトロール隊」の設置、見守りシールの活用を推進します。	⑪市職員の新規採用職員を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。校長会に出向き、市内幼・小・中学校での認知症サポーター養成講座の開催を依頼した。認知症サポータースステップアップ研修は舘南町と共催で認知症疾患医療センターの専門医を講師に招き、希望する住民を対象に実施した。 ・認知症サポータースステップアップ研修　1回 「わんわんパトロール隊」は狂犬病予防接種の機会を利用し、リーフレット等で周知活動を実施した。 わんわんパトロール隊新規登録　7件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪今後は認知症の人やその家族と支援者をつなぐネットワークである「チームオレンジ」と連動し、認知症サポーター養成講座及びステップアップ研修の充実を図り、地域のネットワークを強化する必要がある。	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
	５　緊急通報システムの貸与	在宅のひとり暮らし高齢者等の急病等緊急事態に関する日常生活上の不安を解消するため、家庭用端末機・ペンダント型無線発信機または携帯端末型緊急通報装置を貸与します。	⑪緊急ボタンを押すだけで、安心センターと通話ができ、状況に応じて協力員や親族への連絡や救急車の出動を要請した。また、緊急通報以外でも看護師が生活や健康面での不安や悩み事ごとの相談を２４時間３６５日体制で受け付けている。 実績　　９７人	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪今後も単身高齢者の増加により、事業の必要性は高い。	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
	６　救急医療カプセルの配布	６５歳以上のひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯に、内服状況や現病歴などの医療情報や緊急連絡先を記載した用紙を入れる専用の容器（カプセル）を配布します。	⑪高齢者のみの世帯に、内服状況や現病歴などの医療情報や緊急連絡先を記載した用紙を入れる専用の容器（カプセル）を配布した。 配布数　　４４件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪医療機関情報や緊急連絡先等、本人の情報の更新が課題となっている。マイナ救急の普及に伴い、事業の必要性の検証が必要。	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
２　心身の健康づくりに取り組み、健康寿命を伸ばす	１　健康教育・健康相談の実施	市民の健康意識の高揚を図るため、「生活習慣病予防教室」や検診後の健康相談など、さまざまな健康教育を実施します。	⑫感染対策をとり工夫しながら、健康教育や健康相談等を実施した。 生活習慣病予防教室　3回１コース 参加人数　実人数３５人　延人数８２人 楽ラク筋トレ教室　４回１コース 5回１コース 参加人数　実人数４４人　延人数１６８人 骨と筋力づくり教室　１回実施 参加人数　２０人 検診後の健康相談　９回実施 参加人数　２８人	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑫健康教育に参加されない方に対する健康づくりの取り組みに向けた普及啓発。	⑫無し	維持	⑫健康推進課
	２　総合検診の実施	国民健康保険加入者の２０～３９歳対象の「フレッシュ健診」、４０～７４歳対象の「特定健康診査」、後期高齢者医療制度加入者対象の「後期高齢者健康診査」を実施します。 また、健診受診者に対し、早期からの生活改善を促し生活習慣病予防または重症化の予防を図るため、保健指導を行います。	③⑫総合検診（集団検診）と施設健診（個別健診）を実施した。受診率向上対策として、秋検診を実施した。 特定健康診査　　２，４３１人 （前年比１２５人減） 後期高齢者健康診査　１，２８７人 （前年比１７３人増） 健康診査　２２人 フレッシュ健康診査　８４人 （前年比１０人増加）	△計画より遅れている	③⑫ ・受診率は低迷している状況。引き続き、受診率向上に取り組んでいく必要あり。 ・医療機関は受診しているが健診を受けていない者（レセプトがあるが健康診査は未受診）が多い。みなし健診の活用や健診の活用についての啓発が必要。	③⑫ ・総合検診は予約制で実施。 ・広報誌等での呼びかけやAIによる特定健診受診率向上事業による勧奨を続けることで受診率向上を図る。	維持	③保険年金課 ⑫健康推進課
	３　各種検診の実施	がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、成人歯科検診を実施し、各疾患の早期発見に努めます。	⑫総合検診（集団）と大腸がん検診、結核・肺がん検診・胃がん検診・肝炎ウイルス検診・前立腺がん検診を同時実施した。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑫総合検診と同時実施する検診では、予約制で実施。受診率向上に向けた取り組みが必要。	⑫事前予約、受付時間の設定で実施。	維持	⑫健康推進課
	４　地域リハビリテーション活動の支援	リハビリテーション専門職等が行う介護予防の取り組みを総合的に支援し、介護予防の機能強化を図ります。	⑪リハ専門職が介護予防が必要な高齢者の自宅を訪問し、アセスメントと助言を行った。 32件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪近隣リハ専門職との連携	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課

基本目標2　誰もが安心して『夢』を持って暮らせるまちづくり

実現するためにめざすこと	施策・事業	取組内容	令和７年度実績	進捗状況	課題等	Withコロナ アフターコロナを踏まえた事業内容の見直し	今後の方向性	担当部署
3　子育てしやすい地域をつくる	1　子ども医療費の助成	０歳から中学校３年生までの子どもにかかる医療費（保険適用）の一部を助成します。	⑨高校３年生相当まで、保険適用された医療費から他の公費負担額を控除し、自己負担金額（通院１回３００円、入院１日３００円、調剤無料（住民税非課税・均等割のみ課税世帯は入通院も無料））を除いた金額を助成した。 同一月、同一医療機関で通院６回、入院１１日以上受診した児童は、自己負担金額も助成した。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑨無し	⑨無し	維持	⑨子ども教育課
	2　こんにちは赤ちゃん事業	生後３～４か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、さまざまな不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供・母子の心身の状況や養育環境の把握と助言を行い、支援が必要な家庭について適切なサービス提供につなげます。	⑨主任児童委員及び保健師による訪問を実施した。 訪問員の訪問件数 36件（46.2%） 保健師の訪問件数 42件（53.8%） 全体の訪問件数　78件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑨出生数が減少傾向にあるが、乳児の子育て環境や母子の心身の状況把握等のため、全戸訪問は継続実施する必要がある。	無し	維持	⑨子ども教育課
	3　妊娠期からの育児支援	健やかな妊娠・出産を実現し、安心して育児ができるよう、「両親学級」と「離乳食教室」を実施し、妊娠期から乳児期における育児支援を行います。	⑨両親学級（妊婦対象）実施。 妊婦を対象に年6回実施。参加妊婦 21人 内容2種類実施（①沐浴、赤ちゃんの世話②妊娠中の過ごし方等） 産後の教室は、産後ケア事業（集団）として実施した。年4回実施、参加人数 17組 離乳食教室は、年6回実施。参加者数 49組。 また、4・9か月児相談の際には離乳食の展示を行った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	妊娠・出産のイメージ作りの役割として両親学級を実施している。継続して実施していく必要がある。 離乳食教室は今後も継続実施が必要であると考える。	無し	維持	⑨子ども教育課
	4　ファミリー・サポート・センター事業	地域における育児の相互援助活動として、仕事との両立や子育て中の方の育児支援を行うため、援助を受けたい人と、援助ができる人を適切につなぎ、結びつけます。	○利用実績（延べ件数） 249件 子どもを学童クラブに迎えに行き、習い事への送りが多くなっている、またお預かり、学童クラブに迎えに行きその後預かる支援が増えてきた。	○ほぼ計画どおり進んでいる	提供会員（援助ができる人）を各地区に増やしていく	⑨無し	維持	⑨子ども教育課
	5　発育発達支援事業	乳幼児健診や相談、「にこにこ教室」等で、発育発達に心配がある子どもを対象に、専門家の助言を受けながら小集団での遊びの場「きらりんくらぶ」などにつなげます。	○利用実績（延べ人数） きらりんくらぶ　285人 ことばの相談　　110人 幼児相談　　102人 「乳幼児検診」や「にこにこひろば」、「にこにこ教室」、「移行期支援会議」の様子から発達に心配がある子どもを「個別相談」や「きらりんくらぶ」に繋げることができた。	○ほぼ計画どおり進んでいる	引き続き、保健師、指導主事、子ども園、支援学校、病院などとの連携を大切にし、早期発見、早期認知、早期療育ができるようにしていきたい。	⑨無し	維持	⑨子ども教育課
	6　児童遊園や公園の管理・整備	児童遊園や公園の管理や整備を行います。	⑧-2旧平群小学校等跡地整備工事を令和６年度から令和７年度の継続事業で実施した。 ⑨児童遊園すべての遊具点検を実施した。	☆目標達成（事業完了） ○ほぼ計画どおり進んでいる	⑧-2旧南三原小学校等跡地公園「なみはらくじらパーク」および旧平群小学校等跡地公園「へぐり伊予ヶ岳公園」の維持管理費の確保 ⑨児童遊園については、引き続き遊具点検を実施し、安全対策を行うとともに、老朽化した遊具の撤去や行政区と協議し廃止するか検討していく。	⑧-2無し ⑨手洗い場がない児童遊園が多い。遊び場の確保では子ども園の園庭開放で対応していきたい。	維持 縮小	⑧-2 学校再編整備課 ⑨子ども教育課
	7　校庭・園庭の一般開放	地域の子どもたちの遊び場、市民の健康づくりやコミュニティの場として、小学校、子ども園および幼稚園の校庭・園庭を開放します。	⑧-1南房総市学校施設の開放に関する規則の規定に基づき実施した。	☆目標達成（事業完了）	⑧-1無し	⑧-1無し	維持	⑧-1 教育総務課